



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月28日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
コード番号 2218 URL <https://www.nichiryo-pan.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 吉田 勝彦
問合せ先責任者（役職名） 取締役経理本部長（氏名） 那須 英幸 (TEL) 011-851-8188
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,475	△0.6	22	27.1	29	15.8	28	141.5
2026年3月期第1四半期	4,501	2.9	17	△54.3	25	△45.6	11	△63.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	13.43	—
2026年3月期第1四半期	5.56	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	14,142	5,556	39.3
2026年3月期	14,421	5,529	38.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 5,556百万円 2026年3月期 5,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,700	3.7	200	64.1	200	56.3	120	62.6	57.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	2,103,948株	2026年3月期	2,103,948株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	11,494株	2026年3月期	11,412株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	2,092,459株	2026年3月期1Q	2,092,567株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(セグメント情報等の注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)における北海道の経済環境は、観光需要や所得環境の改善などにより緩やかな回復が見られましたが、継続的な物価上昇や不安定な国際情勢が長期化するなど、先行き不透明な状況で推移しました。当業界におきましては、物価高の影響などによりお客様の節約志向が高まるなか、原材料価格や人件費、物流費等の上昇に加えて、中東情勢に起因した原油価格の高騰により、容器・包材コストの上昇もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「安全・安心な製品を提供する食品衛生の徹底」と「安全・安心な職場づくりによる労働衛生の強化」を企業の基盤として日常業務の着実な遂行に努めてまいりました。また、主力製品の品質向上を継続するとともに、多様化するお客様のニーズに対応した製品開発を推進しました。さらに、生産、販売、管理の各部門において業務の見直しや諸経費の抑制に注力し、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、品質訴求に注力してきた「絹艶」やバラエティ食パンの「デニッシュローフ」が堅調に推移したほか、料理レシピと合わせたプロモーションを行った「イギリス食パン」が伸び、前年同期の売上を上回りました。

菓子パン部門は、「ずっしりデニッシュ」や食べ方提案などの販促活動を強化した「北海道をしっかりと香ばしく」シリーズが堅調に推移したほか、絹艶ブランドの菓子パン「絹艶ドーナツ」等の寄与もありましたが、新製品が伸び悩み、前年同期の売上を下回りました。

和菓子部門は、串団子や高付加価値製品の「北の珠玉堂」シリーズが好調に推移したほか、「チーズ蒸しパン」や北海道産原料を使用したロングライフ製品「福かまど」シリーズの「べこ餅」が順調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

洋菓子部門は、チルドデザートシュークリーム・エクレア製品やロングライフ製品の「北海道の焼きドーナツ」シリーズが好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

調理パン・米飯部門は、常温のロール製品および丼ものの製品の開発を強化し売上確保に努めましたが、絹艶サンドやチェーンストア向けの弁当類が伸び悩み、前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は4,475百万円(対前年同期比99.4%)、営業利益は22百万円(対前年同期比127.1%)、経常利益は29百万円(対前年同期比115.8%)、四半期純利益は28百万円(対前年同期比241.5%)となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における資産合計は14,142百万円で前事業年度末に対し279百万円減少しました。流動資産は4,137百万円で主に現金及び預金が160百万円、受取手形及び売掛金が213百万円減少し、商品及び製品が85百万円増加した結果、前事業年度末に対し257百万円減少しました。固定資産は10,004百万円で主に有形固定資産が24百万円、繰延税金資産が33百万円減少し、投資有価証券が43百万円増加した結果、前事業年度末に対し21百万円減少しました。負債合計は8,585百万円で主に長期借入金(1年内返済予定含む)が4百万円増加し、支払手形及び買掛金が73百万円、賞与引当金が71百万円、流動負債のその他が163百万円減少した結果、前事業年度末に対し306百万円減少しました。純資産合計は5,556百万円で主に利益剰余金が3百万円減少し、その他有価証券評価差額金が31百万円増加した結果、前事業年度末に対し27百万円増加しました。

この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は39.3%、1株当たりの純資産は2,655円68銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、北海道経済は所得環境の改善を背景に緩やかに回復していくことが期待されますが、当業界におきましては、お客様の根強い節約志向が続く市場環境のもと、油脂、乳製品等の原材料価格や人件費の上昇に加え、包装資材や物流費の高止まりが予測され、収益への影響が懸念されます。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、主力製品の品質向上を継続するとともに、お客様の潜在需要やライフスタイルに合ったニーズを的確に捉え、収益性と市場競争力のある製品の開発体制を定着させて新しい価値と新しい需要の創造に取り組み、売上向上をはかってまいります。各種コストが高騰するなか、引き続きお客様へ安全・安心な製品を安定して供給するため、本年7月から、一部の食パン、菓子パン、調理パン、和洋菓子製品の価格改定を実施しました。当社は引き続き「安全・安心な製品を提供する食品衛生の徹底」と「安全・安心な職場づくりによる労働衛生の強化」を企業の基盤として、その実現に向けて生産・販売が一体となり各部門の小委員会活動におけるなぜなぜ改善による課題の把握と優先順位を踏まえた改善を推進し、製品施策・営業戦略を着実かつ迅速に実践・実行・実証するとともに、あらゆるロスの削減を含む内部管理の充実に努めるなど、経営課題に着実に対処し、業績向上をめざしてまいります。

なお、2027年3月期通期に関する業績予想につきましては、2026年5月14日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,686,725	1,526,397
受取手形及び売掛金	2,279,419	2,065,858
商品及び製品	51,421	136,513
仕掛品	29,707	50,159
原材料及び貯蔵品	284,579	285,469
その他	63,550	73,652
貸倒引当金	△31	△60
流動資産合計	4,395,373	4,137,991
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,286,261	2,276,529
機械及び装置（純額）	1,534,488	1,531,924
土地	4,662,405	4,662,405
その他（純額）	393,368	381,437
有形固定資産合計	8,876,524	8,852,297
無形固定資産		
その他	112,056	104,445
無形固定資産合計	112,056	104,445
投資その他の資産		
投資有価証券	935,742	979,250
投資不動産（純額）	37,900	37,900
繰延税金資産	50,618	17,512
その他	17,131	16,826
貸倒引当金	△3,362	△3,362
投資その他の資産合計	1,038,030	1,048,127
固定資産合計	10,026,610	10,004,870
資産合計	14,421,984	14,142,862

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年 3 月 31 日)	当第 1 四半期会計期間 (2026年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,986,112	1,912,335
短期借入金	550,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	710,000	703,700
未払法人税等	38,486	15,999
賞与引当金	163,799	91,942
その他	1,280,842	1,117,518
流動負債合計	4,729,241	4,391,495
固定負債		
長期借入金	1,360,500	1,371,000
再評価に係る繰延税金負債	1,225,815	1,225,815
退職給付引当金	1,466,640	1,482,143
役員退職慰労引当金	101,994	104,920
その他	8,700	10,600
固定負債合計	4,163,650	4,194,478
負債合計	8,892,891	8,585,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	1,298,148	1,294,854
自己株式	△16,554	△16,735
株主資本合計	2,333,567	2,330,093
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	536,420	567,689
土地再評価差額金	2,659,104	2,659,104
評価・換算差額等合計	3,195,525	3,226,794
純資産合計	5,529,093	5,556,887
負債純資産合計	14,421,984	14,142,862

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,501,376	4,475,163
売上原価	3,273,979	3,243,665
売上総利益	1,227,396	1,231,498
販売費及び一般管理費		
販売費	984,130	981,684
一般管理費	225,651	227,424
販売費及び一般管理費合計	1,209,782	1,209,109
営業利益	17,614	22,389
営業外収益		
受取配当金	12,719	13,739
受取賃貸料	2,399	2,433
その他	1,195	2,505
営業外収益合計	16,314	18,678
営業外費用		
支払利息	8,413	11,529
その他	0	0
営業外費用合計	8,413	11,529
経常利益	25,515	29,538
特別利益		
固定資産売却益	81	898
投資有価証券売却益	-	27,175
特別利益合計	81	28,073
特別損失		
固定資産売却損	-	42
固定資産除却損	895	7,852
特別損失合計	895	7,895
税引前四半期純利益	24,700	49,717
法人税等	13,066	21,622
四半期純利益	11,634	28,094

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	126,905千円	140,778千円